



○ シャクヤク(芍薬)

語源

学名の*Paeonia*は、Paeon(ギリシア神話の医神)、*lactiflora*は乳色の花という意味。

基原

Paeonia lacflora シャクヤク
ボタン科 多年生草本

薬用部分

根

産地

中国、朝鮮半島、日本（北海道、長野、奈良）

主な成分

モノテルペン配糖体：ペオニフロリン
アルビフロリンなど
モノテルペン：ペオニフロリゲノンなど

主な薬効

収斂、鎮痙、鎮痛



代表的処方

主として漢方処方用薬であり、鎮痛鎮痙薬、婦人薬、冷え症用薬、かぜ薬、皮膚疾患用薬、消炎排膿薬とみなされる処方及びその他の処方に高頻度で配合されている。

【芍薬甘草湯】

シャクヤクカンゾウトウ
体力に関わらず使用でき、筋肉の急激なけいれんを伴う痛みのあるものの次の諸症：こむらがり、筋肉のけいれん、腹痛、腰痛
(処方内容) 芍薬／甘草

【加味逍遙散】

カミショウヨウサン
体力中等度以下で、のぼせ感があり、肩がこり、疲れやすく、精神不安やいらだちなどの精神神経症状、ときに便秘の傾向のあるものの次の諸症：冷え症、虚弱体質、月経不順、月経困難、更年期障害、血の道症、不眠症
(処方内容) 当帰／芍薬／白朮(蒼朮)／茯苓／柴胡／牡丹皮／山梔子／甘草／生姜／薄荷葉

【当帰芍薬散】

トウキシヤクヤクサン
体力虚弱で、冷え症で貧血の傾向があり疲労しやすく、ときに下腹部痛、頭重、めまい、肩こり、耳鳴り、動悸、などを訴えるものの次の諸症：月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前産後あるいは流産による障害(貧血、疲労倦怠、めまい、むくみ)、めまい・立ちくらみ、頭重、肩こり、腰痛、足の冷え症、しもやけ、むくみ、しみ、耳鳴り
(処方内容) 当帰／川芎／芍薬／茯苓／白朮(蒼朮)／沢瀉

文献報告

【抗瘀血】

Studies on active substances in herbs used for Oketsu ("Stagnant Blood") in Chinese medicine. VI. On the anticoagulative principle in *Paeoniae Radix*
Chem. Pharm. Bull, 1987, 35, 849-52

【鎮痛・鎮痙】

芍薬の*in vivo*における抗コリン作用とその活性作用成分

Yakugaku Zasshi, 1990, 110, 964-8

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「漢方のくすりの事典」「日本薬草全書」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11
TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562
URL: www.fukudaryu.co.jp

Power of Kanpou